



海洋政策研究所



海洋スタートアップ エコシステムの創造

公益財団法人笹川平和財団

黄 俊揚

海洋政策研究所 主任研究員

2025年2月

- ・ 海洋にまつわる諸問題の俯瞰的視座からの把握
- ・ 自然科学-社会科学-人文科学を統合した科学的アプローチによる問題の分析
- ・ 国際社会において政策決定者が参考としうる実現可能な政策としての提案

現地調査・研究を基に海洋に関する正しい情報を収集・分析し、地球の生命体共有の財産を守り新たな価値を創造することを共通目的として、国家間、民族間、地域間、多種多様な人々の間で情報共有・対話・教育を通して、海洋を人類の平和と繁栄を構築する場とすることを目指します。





海洋と経済—ブルーエコノミー—

海洋と環境

海洋のガバナンス

海洋のデジタル化 海洋の可視化と海洋宇宙連携

海洋教育・人材育成

海洋情報発信



2022年にパラオで開催された「Our Ocean Conference」における 次世代海洋リーダーの国際会合

持続可能な海洋の未来に向け、次世代リーダー育成を目的に、2022年から5年間で100名の若者を支援。

船舶や国際会議を活用し、教育プログラムを実施。

「課題発見・合意形成」、「海洋への関心」、「海洋リテラシーの向上」

国際海洋人材育成プロジェクト（海洋人材100人育成計画）



<https://www.spf.org/opri/news/20240410.html>

SPF Confidential. Do not copy, reproduce or distribute.

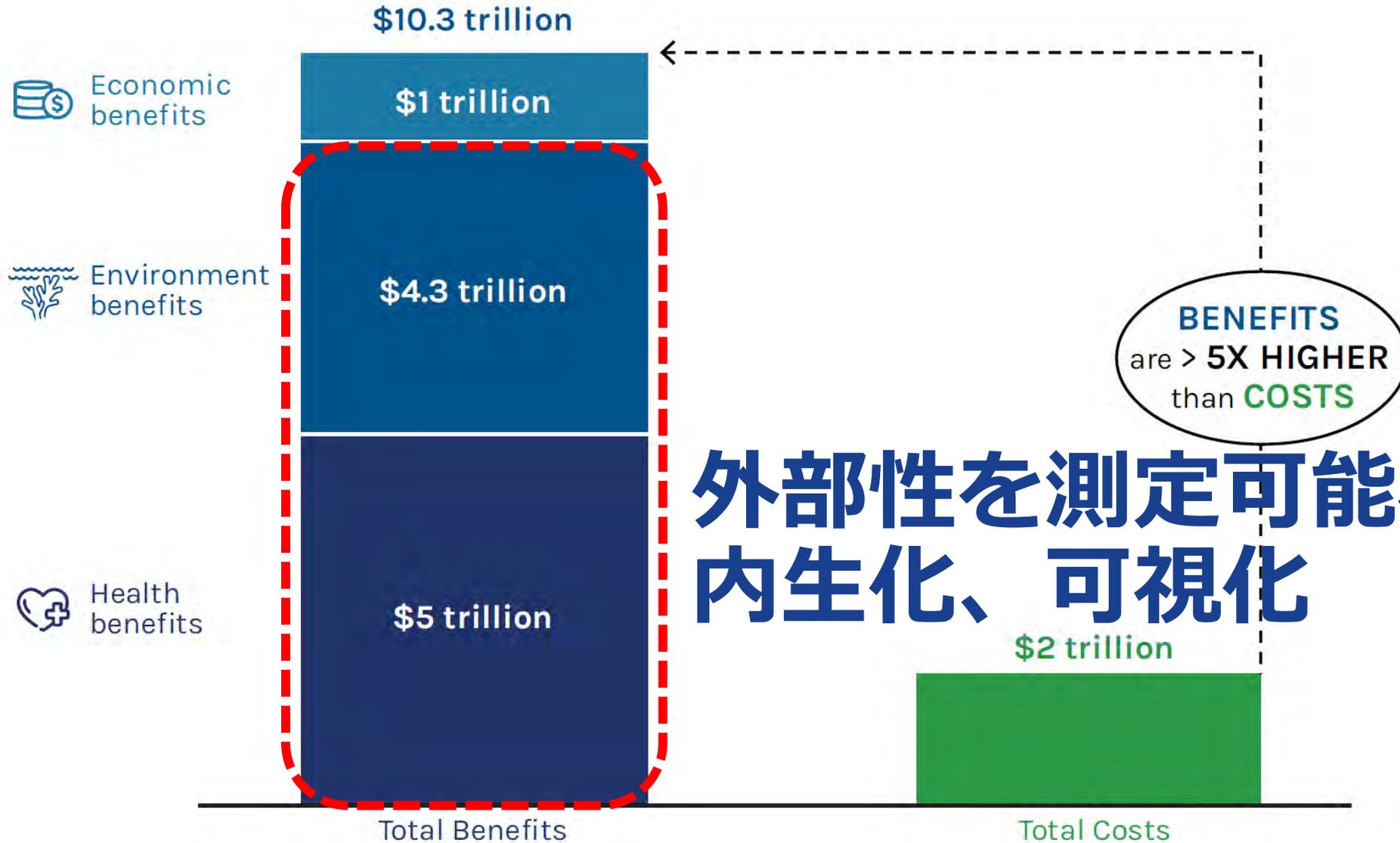


Blue Impact Finance

背景

- 海洋問題の社会的課題を解決するための実践や方法がまだ不十分、海洋投資評価基準の不足。
- 実証例やエビデンスに基づく研究が不足しているため、海洋への影響を考慮した投資プロジェクトが少ない。
- 海洋への影響を考慮した投資は、業界横断的な取り組みや金融業界の専門家との公私連携が不足しており、まだプラットフォームが存在していない。

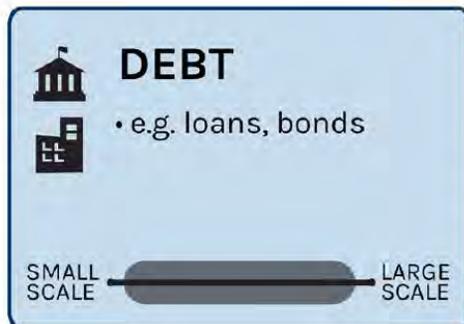
持続可能な海洋投資は、コストより5倍以上の利益をもたらさせ



外部性を測定可能へ、
内生化、可視化

主要な海洋ファイナンス資本の特徴

MAJOR CAPITAL TYPES



Key players/ providers of capital type include:

Philanthropic foundations, NGOs, official development assistance (ODA)

Public sector, e.g. governments, multilateral development banks

Private sector, e.g. corporations, commercial banks, equity investors

Relative scale of investment

Source: Sumalia et al. (2021)
<https://www.nature.com/articles/s41467-021-23168-y>

RISK
(financial)

ブルーインパクトを測定しよう！

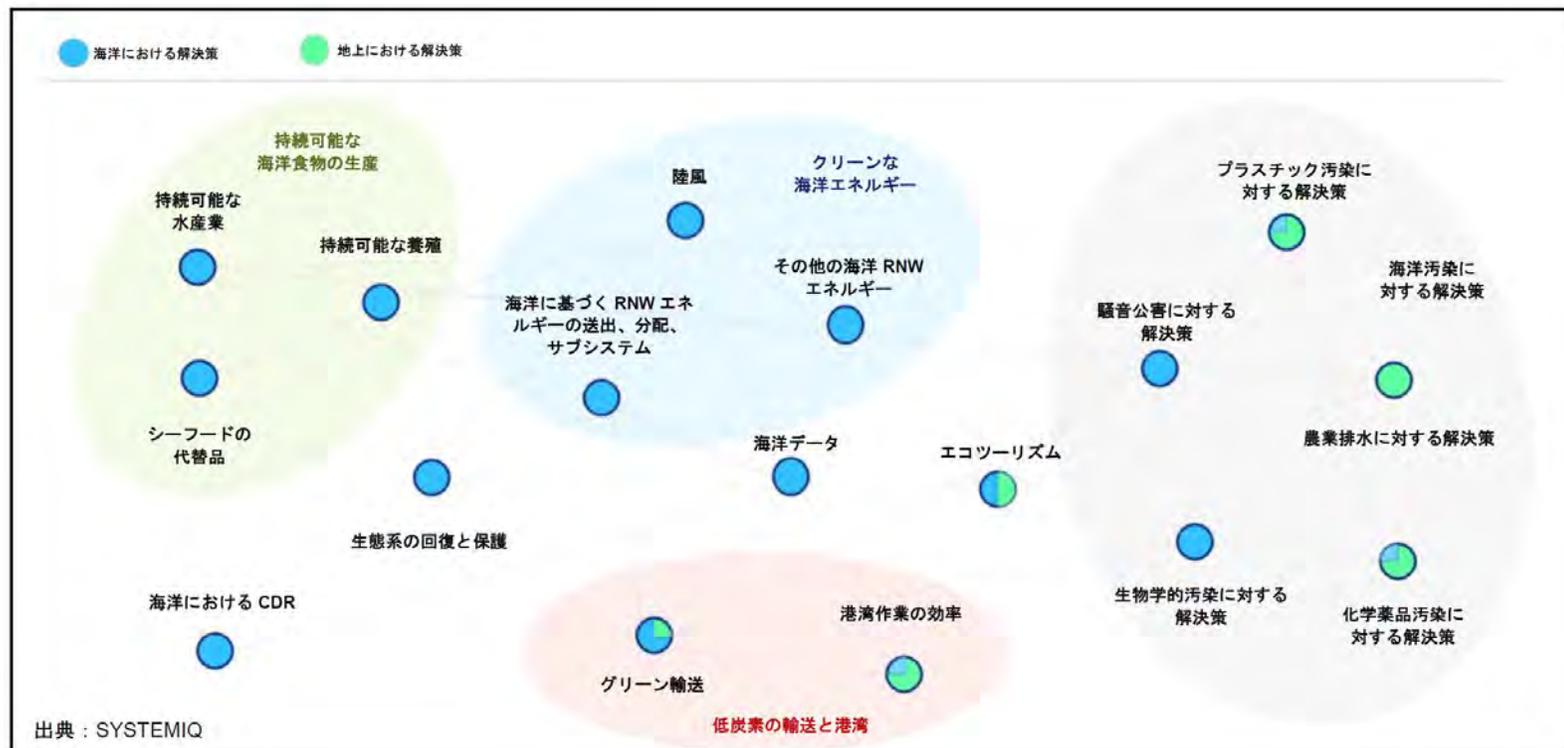
オーシャンインパクト
ナビゲーター

オーシャンイノベーション
エコシステムを対象とした
新たな影響測定フレームワーク



SYSTEMIQ

- 新興する海洋関連産業
- ベンチャーのブルーインパクトを評価する
- エビデンスに基づく定量的および定性的アプローチ



* OPRIによる日本版の監修担当

Source: <https://www.1000oceanstartups.org/navigator>

32個評価指標 KPI

A. 持続可能な海洋資源管理

- A1. 保存または回復されたバイオマスの量
- A2. 削減されたシーフード廃棄物の量
- A3. 海洋生物の福祉
- A4. 生産された海藻や二枚貝のトン数

B. 清潔な海

- B1. 自然（または埋立地）から逸出したプライマリマイクロプラスチックの量
- B2. 自然（または埋立地）から逸出したマクロプラスチックの量
- B3. 窒素／リンの汚染の緩和（すなわち、削減、回避、または生物修復）
- B4. 陸上からの汚染水の水路への逸出量
- B5. 侵略的種の削減または回避
- B6. [その他の汚染]の減少（例：重金属、化学物質、音など）
- B7. NOx排出の緩和
- B8. SOx排出の緩和
- B9. 粒子状物質の排出の緩和

C. 繁栄する海洋生息地の回復

- C1. 保護または回復されたサンゴ礁の面積
- C2. 保護または回復されたマングローブの面積
- C3. 保護または回復された海草の面積
- C4. 保護または回復された塩性湿地の面積
- C5. 保護または回復されたケルプの森の面積
- C6. 保護または回復された[その他の]生息地の面積

D. 1.5°Cに向けて

- D1. 減少または回避された温室効果ガスの排出量
- D2. 発生した温室効果ガスの排出量
- D3. 固定された炭素量

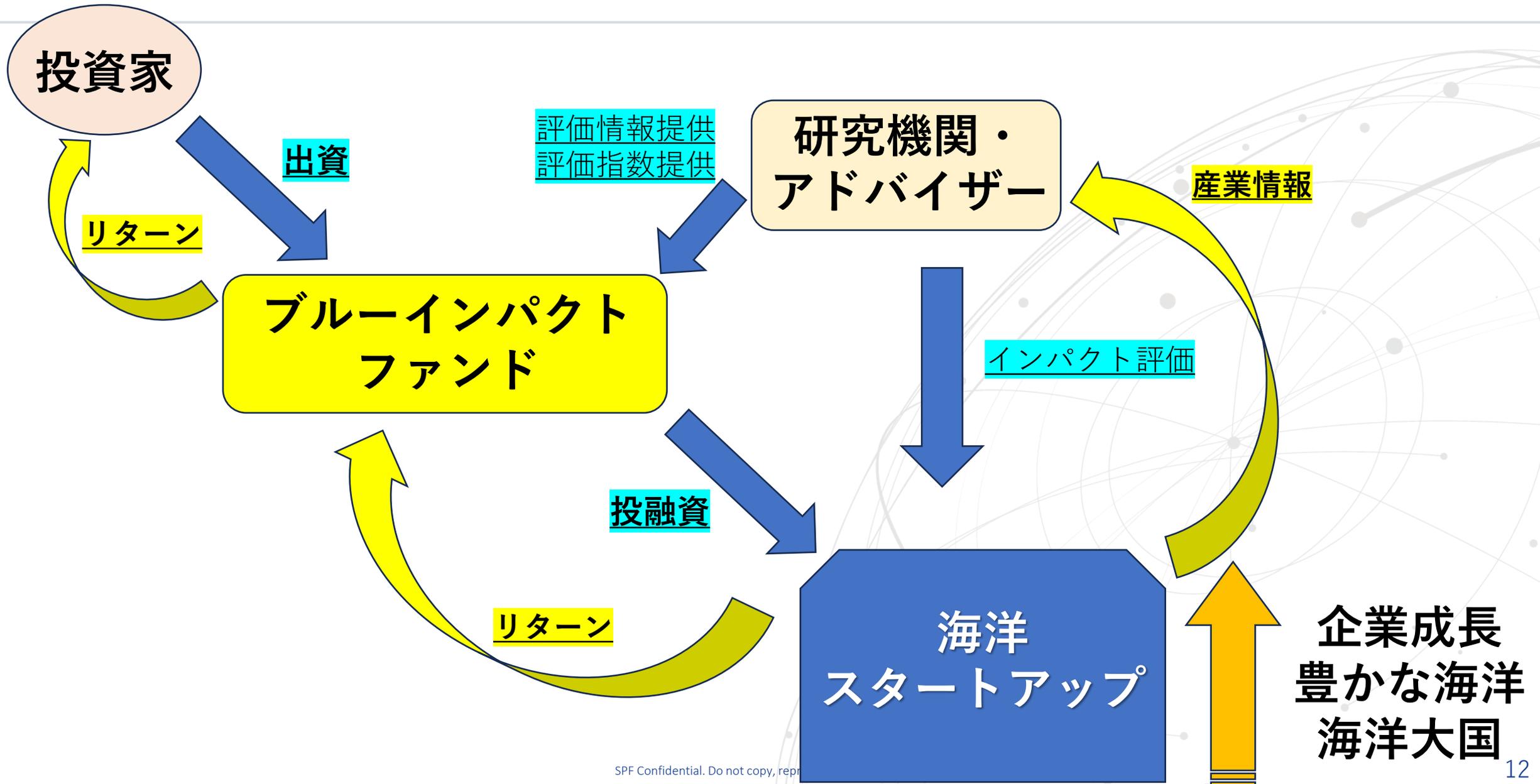
E. 気候に強い沿岸コミュニティ

- E1. 保護された海岸線の長さ
- E2. 気候適応と強靱性を支援する意思決定における海洋情報製品／サービスの利用
- E3. 気候変動に適応するための支援を受けた人数

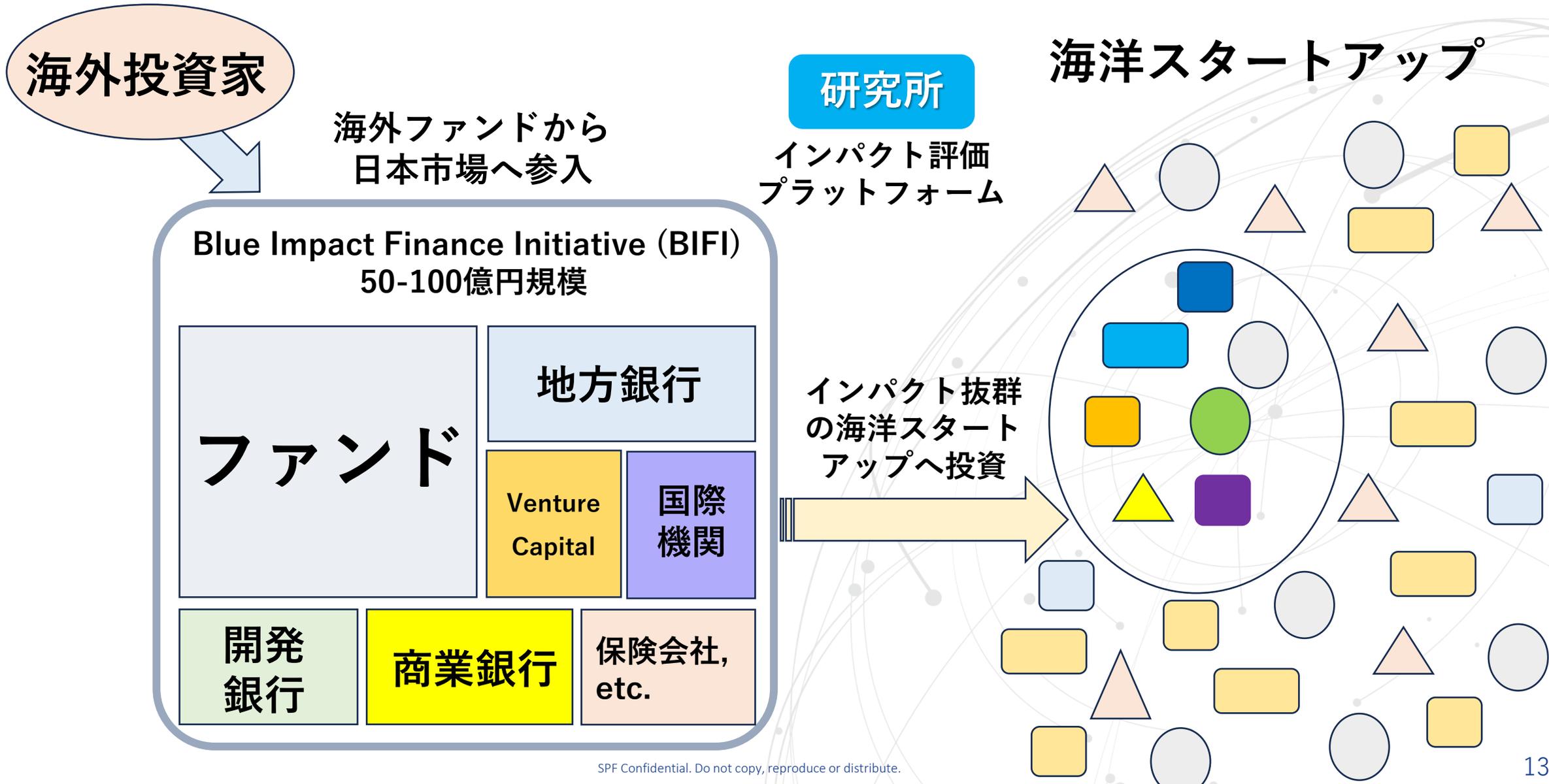
F. 正の社会経済的成果

- F1. 創出された雇用の数
- F2. 教育／訓練プログラム修了者の数
- F3. 女性従業員の割合
- F4. 女性管理職の割合
- F5. 未代表または軽視されているグループからの管理職の割合
- F6. 重要な運営拠点の平均初任給と地元最低賃金との比率
- F7. 食料安全保障の向上
- F8. 沿岸地域（海岸から50km以内）で経済機会が増加した人数（新しい仕事または収入の増加を通じて）
- F9. [その他の]正の社会経済的成果

海洋スタートアップの投資エコシステム



海洋スタートアップエコシステムの構想



Think, Do, and Innovate - Tank

OPRI 海洋政策研究所

●●●●●●●● SASAKAWA PEACE FOUNDATION



www.spf.org/opri/

